

2020年(令和2年)
6月5日
第1991号

日本住宅新聞

(株)NJS 日本住宅新聞社
〒113-0022
東京都文京区千駄木 3-45-2
https://www.jyutaku-news.co.jp
TEL:03-3823-2511
FAX:03-3823-2566
support@jyutaku-news.co.jp
https://www.facebook.com/jyutakushinbun

年間購読料 17,000円(本体)+税:毎月5、15、25日発行(10日は団体機関紙、付録ユーザー版年4回)、E~Jエネ年4回発行

近年起きた主な水害



いずれかの災害リスク地域に居住する世帯の状況(全国における推計)

土砂災害、津波浸水、浸水のいずれかの地域に該当する住宅	建て別世帯数及び割合(単位:世帯)							
	合計	一戸建て	長屋建て	共同住宅(1-2階建て)	共同住宅(3-5階建て)	共同住宅(6-10階建て)	共同住宅(11階建て以上)	その他
総世帯数(主世帯数の合計)	51,984,188(100%)	28,654,769(100%)	1,005,005(100%)	6,154,012(100%)	8,283,148(100%)	4,570,411(100%)	3,237,750(100%)	78,093(100%)
該当する世帯数※	12,032,009(23.1%)	8,742,879(30.5%)	354,758(35.3%)	1,293,089(21.0%)	1,060,571(12.8%)	379,900(8.3%)	170,503(5.3%)	30,309(38.3%)

出典:国土交通省及び国土院調査より国土交通省作成

そのうえで、これらの災害リスク地域をGISと呼ばれる地理情報システム上に重ね合わせ、世帯の重複を排除した形で集計した結果、約1203万世帯が

いずれかの災害リスク地域に居住する世帯の状況(全国における推計)の市街地も多く含まれていることから、このような結果となった。

contents

▼私の工務店経営 12面
小菅工務店(東京都西東京市)

[NEWS] 長期優良住宅最終とりまとめ案を発表 5面

新製品・注目商品:8面
新設住宅着工戸数:9面 市場動向:10面

住宅着工資料パスワード
njsjyutakunews4771

居住していると推計した。これは全世帯数約5198万世帯の3%に相当する数となっている。

また、津波浸水想定地域に居住する世帯数については、約123万世帯が居住していると推計している。この数は、総世帯数の約4.6%に相当する。なお、同地域については、データを公表しているのが24道府県にとどまるため、これを対象としたものを発表している。

さらに河川の洪水等による浸水想定地域に居住する世帯は、約99.2万世帯、総世帯のうち約2割が居住しているものと推計した。ゼロメートル地帯等の低地の市街地も多く含まれていることから、このような結果となった。

そのうえで、これらの災害リスク地域をGISと呼ばれる地理情報システム上に重ね合わせ、世帯の重複を排除した形で集計した結果、約1203万世帯が

国土交通省の社会資本整備審議会(分科会長 中井 裕裕・東京工業大学環境・社会理工学部長)は、住宅地分科会勉強会を5月28日に開催し、産業・新技術、まちづくりの視点から生活基本計画の見直しの観点について議論を行った。同会議では事務方が災害リスクと住まいの立地について「土砂災害警戒区域」「津波浸水想定地域」「浸水想定地域」のい

ずれかの地域に該当する世帯数は約1203万世帯で、総世帯数約5198万世帯のうち、23・1%を占めるとする推計結果を公表した。

近年、地震被害のほかに豪雨や台風といった水災害が毎年のように発生し、住宅にも被害が生じている。土砂災害警戒区域については、都道府県による調査や区域指定が進められており、現在、全国

約67万区域であると推計されている。今回、同区域内に居住する世帯数は、「イエローゾーン」と呼ばれる土砂災害警戒区域に約137万世帯、「レッドゾーン」と呼ばれる土砂災害特別警戒区域に約20万世帯、あわせて157万世帯が居住し

ていると推計している。この数は、総世帯数の約4.6%に相当する。なお、同地域については、データを公表しているのが24道府県にとどまるため、これを対象としたものを発表している。

居住していると推計した。これは全世帯数約5198万世帯の3%に相当する数となっている。

また、津波浸水想定地域に居住する世帯数については、約123万世帯が居住していると推計している。この数は、総世帯数の約4.6%に相当する。なお、同地域については、データを公表しているのが24道府県にとどまるため、これを対象としたものを発表している。

さらに河川の洪水等による浸水想定地域に居住する世帯は、約99.2万世帯、総世帯のうち約2割が居住しているものと推計した。ゼロメートル地帯等の低地の市街地も多く含まれていることから、このような結果となった。

総世帯数23・1%が浸水等の災害リスク地域に該当

全国に広がる54店舗

住宅資材・木材・住宅機器のプロショップ

現金問屋 **ダイコクグループ**

〒590-0906 大阪府堺市堺区三宅町4丁目243-3
Tel.072-222-8106 Fax.072-222-8107
建材OFFドットネット(インターネット販売)
建材OFF 検索 http://www.kenzaioff.net/

太陽 SUNR とハウスロンZERO に上位グレードをラインナップ!

簡単施工で高断熱を求められる方は **ハウスロンZERO**
ノンホルムアルデヒドのハイエンドモデル
熱伝導率0.035[W/(m・K)]

別張り防湿仕様でしっかり断熱されたい方は **太陽SUNR**
さらに断熱性能を求めるユーザーさま向けに
熱伝導率0.032[W/(m・K)]

は断熱から始める。家族を想う、家族づくり。

グラスウールは次世代へ
ZEHをはじめとする高断熱住宅の普及によってより性能の高い断熱材が必要とされています。
さらに高い断熱性能を求めるユーザー様のために、「ハウスロンZERO」と「太陽SUNR」は上位グレードをラインナップしました。

パラマウント硝子工業株式会社 www.pgm.co.jp/contact/



後列左より沼上専務理事、杉村理事、太田常務理事、春田評議員、中山理事、中嶋監事
前列左より村谷評議員、小川評議員、吉田繁前理事長、吉田隆新理事長、遠藤理事

公益財団法人PHOENIX 新理事長は吉田隆氏

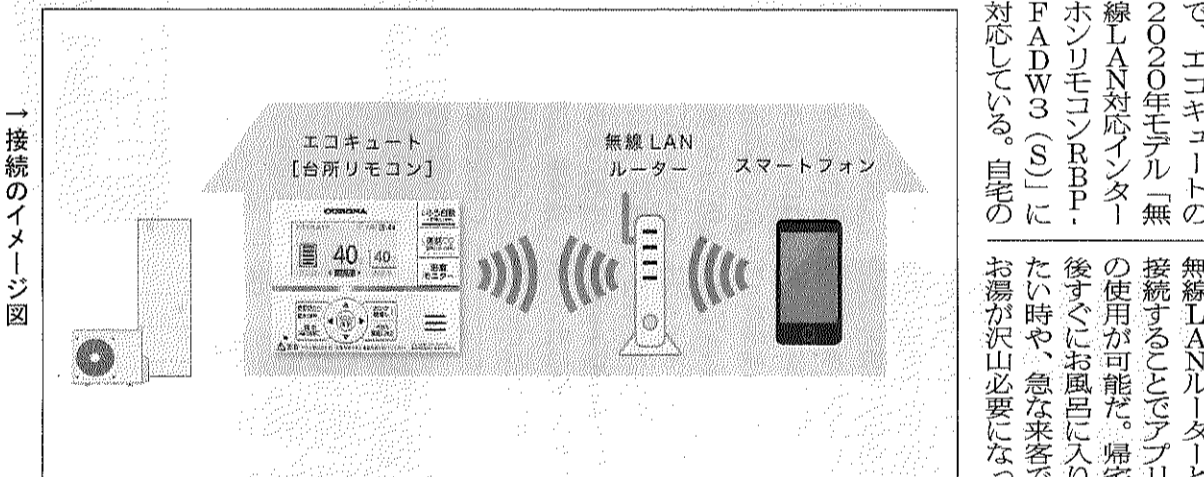
(公財)PHOENIXは、定時評議員会及び臨時理事会を5月20日に開催した。臨時理事会では、吉田繁代表理事/木材・合板博覧館理事長(JKホルディングス相談役)が退任し、後任に吉田隆氏(同会長)が就任した。そのほか、沼上英彦専務執行専務理事、太田正光専務執行専務理事、杉村雅通業務執行理事の再任が決定した。

中大規模木造建築に関するオンライン相談窓口開設

木造耐震設計事業などを展開する(株)エヌ・シー・エヌ(東京都)は、このほど中大規模木造建築に関するオンライン相談窓口を開設した。基本的な質問や情報収集、検討中のプロジェクトに関する構造やコストの相談に、経験豊富なスタッフが対応する。たとえば構造の簡易検討に対しては、意匠図を基に同社SE構法を採用した場合の構造簡易検討を行い、耐力壁や梁の位置、断面などを提案する。相談、各種提案は無償で行う。希望者は同社サイトに

気密測定技能者養成講習・試験受付開始

(一財)建築環境・省エネルギー機構は、2020年度の「気密測定技能者養成講習・試験」を開催する。この講習は、JIS A2201送風機による住宅等の気密性能試験方法に基づいた測定方法やその原理を習得するもの。測定結果は、気密性能を要求される住宅の工程管理やクライアントへの住宅の品質証明としても活用される。対象は①講習日の同日に受験する2020年度新卒に登録予定の事業所に勤務する者。



無線LANルーターと接続することでアプリの使用が可能だ。帰宅後すぐにお風呂に入りたい時や、急な来客でお湯が沢山必要になった時、外出先からのお湯はりやタンクへの湯増しができる。お湯の使用量や使用可能湯量などをスマートフォンで確認できる機能も備え、エコキュートの情報の見える化を実現した。自宅や離れた場所から浴室内の子どもや高齢者の状況を把握することも可能だ。長時間の入浴を検知したときスマートフォンに通知が送られる「長湯お知らせ」機能も備えている。

株式会社コロナスマホとエコキュート連携 外出先からお湯はりなどできるアプリ

(株)コロナは、スマートフォンで外出先からエコキュートを操作できるアプリ「コロナ快適ホームアプリ」の無料配信をGoogle PlayとApp Storeで開始した。同アプリは、給湯機の遠隔操作や家族の見まもりが行えるサービスで、エコキュートの2020年モデル「無線LAN対応インターホンリモコンRBP-FADW3(S)」に対応している。自宅の無線LANルーターと接続することでアプリの使用が可能だ。帰宅後すぐにお風呂に入りたい時や、急な来客でお湯が沢山必要になった時、外出先からのお湯はりやタンクへの湯増しができる。お湯の使用量や使用可能湯量などをスマートフォンで確認できる機能も備え、エコキュートの情報の見える化を実現した。自宅や離れた場所から浴室内の子どもや高齢者の状況を把握することも可能だ。長時間の入浴を検知したときスマートフォンに通知が送られる「長湯お知らせ」機能も備えている。

ムク・ボード

国産スギ 床倍率3.0倍 (★サイズのみ) F★★★★

フリー板サイズも好評です。特殊サイズはお問い合わせください。松ムク・ボードは造作用途をおすすめしています。

標準サイズ (mm)	
厚み	24, 28
大きさ	910×1820★ 955×1910★ 1000×2000★ New 500×2000 500×3000

活用術はコチラ

LIXIL、一部商品を価格改定

（株）LIXILは、今年9月1日に一部の住宅用建材のメーカー希望小売価格を値上げすると発表した。対象商品は建築用加工ガラス（複層ガラス等）、網戸、雨戸、天窓、耐風タイプのシャッター、面格子等となっている（下図参照）。

一例として、建築用加工ガラスで10%程度、雨戸・天窓等で20〜30%程度等改定するとしている。

同社は改訂する理由について、「諸資材や物流費の高騰が続く中、生産性の向上、合理化によるコストダウン・諸経費の削減を行ってきたが、原材料、諸資材及び物流費は、依然上昇を続けており、もはや企業努力のみで対応することが困難な状況」としている。商品別の価格改定一覧は、同社ホームページ（<https://www.lixil.co.jp/information/20200601.htm>）を参照。

対象商品	改定率
建築用加工ガラス（複層ガラスなど）	10%程度
網戸	15%程度
雨戸、天窓	20〜30%程度
シャッター（耐風タイプ）	25%程度
面格子、ひさし（一部品種）	10%程度
樹脂・アルミ樹脂複合サッシ完成品の一部	2〜8%程度
リフォーム用窓（内窓、取替障子）	2〜6%程度
断熱玄関ドア・アルミ製玄関ドアの一部	8〜12%程度

4月着工 全体の減少傾向変わらず 持家は9カ月連続減少

国土交通省が5月29日に公表した4月の新設住宅着工戸数は6万9162戸（前年同月比12・9%減）で10カ月連続減少となった。それぞれ持家は9カ月連続、貸家は20カ月連続、分譲は6カ月連続の減少。季節調整済年率換算値は79万6680戸（前月比12・0%減）で3カ月ぶりの減少だった。

利用関係別では、持家は2万1015戸（前年同月比17・4%減）で9カ月連続の減少。民間資金によるものも1万8733戸（同18・2%減）で9カ月連続減少し、公的資金によるものは先月の増加から再びの減少（同10・4%減）となった。貸家は同15・4%減で20カ月連続の減少。民間資金による貸家は34カ月連続の減少となったが、公的資金による貸家は先月の増加から再びの減少となった。

令和2年4月新設住宅着工統計（▲は減少、無印は増加）

		戸数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
新設住宅合計		69,162	▲2.2	▲12.9
利用関係別	持家	21,015	▲5.9	▲17.4
	貸家	24,946	▲6.0	▲15.4
	給与分譲	614	▲3.6	▲40.4
	分譲	22,557	6.3	▲3.6
地域別	首都圏	24,903	3.3	▲13.1
	中部圏	8,982	3.0	10.9
	近畿圏	10,030	▲13.9	▲15.7
	その他の地域	25,247	▲3.8	▲17.8
構造別・建て方別	木造 一戸建	38,840	▲3.2	▲14.0
	木造 非木造	30,011	▲3.1	▲9.6
	共同住宅	30,322	▲0.9	▲11.4
	共同住宅	26,259	0.4	▲6.1
工法別	軸組木造	30,314	▲0.9	▲3.6
	在来非木造	23,053	5.5	▲12.9
	プレハブ	8,078	▲16.1	▲19.1
	2×4	7,717	▲11.0	▲14.4

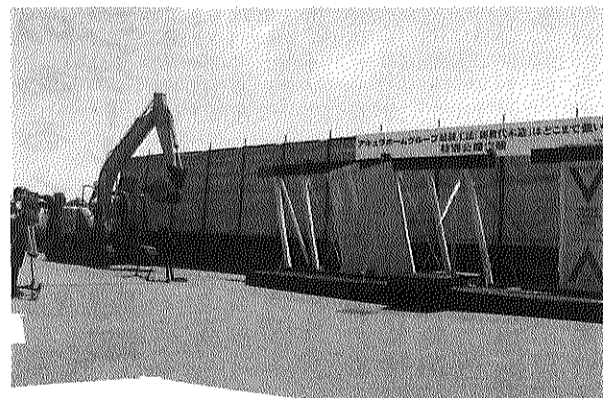
一般的な耐力壁 6枚分より強い耐力壁

木造注文住宅を手掛ける株式会社キョロホーム（東京都）は5月30日、アキユラホームグループ技術研究所（埼玉県日高市）で同社が独自に開発した15倍耐力壁「トリプルストロングウォール」の実証実験を行った。実験の様子は5000名を超える視聴希望者に、WEB上で同時配信された。

実験は一般的な工法の壁「筋交い入り（木造）」「ブレース入り（鉄骨造）」「合板張り（2×4工法）」をそれぞれ2枚ずつ、計6枚を繋いだ壁と、トリプルストロングウォール1枚の壁が、どのくらいの引っ張り力に耐えられるのか、重機からワイヤーでそれぞれの壁を引っ張る形で行われた。

結果は、6枚を繋いだ壁は61kNで壊れたが、トリプルストロングウォールは81kNまで耐え、際立った耐力が証明された。リモートで参加した東京大学・稲山教授は「木造住宅で最強の壁と言っているだろう。使用している構造用合板は一般的なものだから、強さの秘密は釘打ちにあると思う」とコメントした。

木造住宅で耐力の高い壁を使えば、解放感のある大空間・大開口が実現でき、住宅プランが広がる。「新世代工法」を追求する同社は、これまで木造耐力壁NO.1を決める「壁11GP」に過去6回優勝、木造住宅の弱点と言われてきた「広い開口部が取り難い」に、強靱な耐力壁を開発することで挑戦し続けている。



6枚の従来型耐力壁は重機の動きにあえなく傾き、そのまま破壊された。
6枚で耐力61knを計測



トリプルストロングウォールを引くとあまりの高強度に建設重機後方のキャタピラが浮き上がってしまった。
この後に81kNで破壊

ここでしか見られません! 購読者限定 住宅着工資料 無料

全国 都市別

住宅着工資料 無料



平成30年計 全国市区町村別にまとめた新設住宅着工資料!!

日本住宅新聞 定期購読者 限定
2018年 全国市区町村別 住宅着工戸数 無料閲覧

■全体の市場では把握できない、地域の住宅市場からヒントを得る!

是非自社の商圏エリアを比較して見てください!

上記の弊社ホームページ上部に御座います、バナーより弊紙1面コンテンツ欄に記載のパスワードを入力して閲覧頂けます。

※パスワードは月ごとに変わりますので、ご注意ください